



2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社ダイドーリミテッド

代表者名 代表取締役社長 執行役員グループ C00 成瀬 功一郎

コード番号 3205 (東証スタンダード・名証プレミア)

問合せ先 執行役員 経営管理室長 林 修平

(TEL : 03-3257-5022)

第 2 四半期 (中間期) 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2026 年 5 月 13 日に公表いたしました 2027 年 3 月期第 2 四半期 (中間期) 連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2027 年 3 月期第 2 四半期 (中間期) 連結業績予想の修正 (2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 19,135	百万円 230	百万円 135	百万円 180	円 銭 6.60
今回修正予想 (B)	18,790	120	90	130	4.74
増減額 (B-A)	△345	△110	△45	△50	△1.86
増減率 (%)	△1.8	△47.8	△33.3	△27.8	△28.2
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2026 年 3 月期第 2 四半期)	13,294	△698	△807	△186	△6.87

2. 修正の理由

第 1 四半期の実績につきましては、前期第 2 四半期末に連結子会社化した株式会社ジャパンプルーの業績寄与により前年同期を大きく上回り、第 1 四半期としては 15 期ぶりに営業利益の黒字化を実現するとともに、営業利益以下の全ての利益についても黒字となりました。

一方で、2026 年 7 月 23 日付で株式譲受契約を締結いたしました株式会社 4strengX の連結子会社化にともない、取得関連費用 151 百万円を販売費及び一般管理費として第 2 四半期に計上する見込みとなったことなどにより、第 2 四半期 (中間期) 連結業績予想につきましては、上記の通り修正することといたしました。

なお、第 3 四半期以降につきましては、株式会社 4strengX の業績が連結業績に取り込まれることに加え、既存事業においても収益改善を見込んでいることを踏まえ、下期の業績予想を上方修正したうえで、通期の連結業績予想については 2026 年 5 月 13 日に公表いたしました前回の予想を据え置くことといたしました。

なお、のれん償却費および一過性費用である取得関連費用を控除する前の営業利益である調整後のれん償却前営業利益 (調整後 EBITA) につきましては、株式会社 4strengX の連結業績への寄与などによって前回業績予想公表時の想定を 359 百万円上回り 2,057 百万円となる見込みであり、事業本来の収益力は引き続き改善しているものと認識しております。

(注) 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものです。実際の業績等は、のれんの金額およびのれんの償却期間などや今後の様々な要素により本資料の記述とは異なる結果となる可能性があります。

以上